

0420

## 印刷文化論

4 単位（通信授業 4 単位）

田村裕教授、杉山聡講師

## 授業の概要と目標

近代文明を、印刷術を通して分析するとどう見えるのかを論考する。中国を源流としつつも、ヨーロッパ近代を劇的に展開させた凸版印刷、ヨーロッパ起源の凹版印刷、平版印刷、これらがいまって現代大衆文化を底支えするまでに至る道のりを振り返りつつ印刷の果たした役割について考える。それは書物万能の価値観を根元から問い直すひとつのきっかけにもなるはずである。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

自分のこれまでの生活の中で、強く印象に残っている印刷物（出版物や附録、広告、包装紙、玩具など。版画作品やパソコンでプリントアウトしたものは含まない）を 1 点（1 冊）だけ取り上げ、「その印刷物と私の関わり」について分析・考察して論じなさい。図版を 3 点まで添付可（2000 字以上、2200 字以下とする）。

## ○通信授業課題 2

三版方式（凸版印刷・凹版印刷・平版印刷）の各々について、「文明史的役割」と「芸術的役割」を論じなさい。図版を 3 点まで添付可（2000 字以上、2200 字以下とする）。

## ○通信授業課題 3

近代文明のあり方と印刷物のかかわりについて論じなさい（2000 字以上、2200 字以下とする）。

## ○通信授業課題 4

21 世紀以降の文明における印刷の役割あるいはそれに代わるものの可能性について論じなさい。図版を 3 点まで添付可（2000 字以上、2200 字以下とする）。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

以下のような教科書の構成に沿って学習を進めるものとする。

0. はじめに
1. 印刷とは
2. 凸版印刷
3. 凹版印刷
4. 平版印刷
5. 紙
6. 書物の形態
7. 印刷と文字
8. 書物の機能
9. 印刷と文化

## 成績評価の方法

## ◎科目試験

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

## 教材等

教科書：酒井道夫『印刷文化論』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

## その他

参考文献は、教科書の末尾に記す。追加する情報は、順次、刊行物、Web 上に提示する。